

最近のライツ・オフリング事例

(2013年8月時点)

コード	会社名	決議日	払込期日	発行株数	調達予定額	発行価額	ディスカウント率	割当比率	資金使途	調達率	アドバイザー
3323	レカム	8月9日	10月18日	22.3万株	2.6億円	1,200	-50%	1:1	事業再生資金		藍澤
3775	ガイアックス	6月14日	9月10日	248万株	14.8億円	600	-67.20%	1:1	事業資金		S B I
6636	シスウェーブ	6月5日	8月14日	71万株	17.7億円	5,000	-30.50%	1:2	事業資金	93.62%	三田
3318	メガネスーパー	5月20日	7月29日	1368万株	10億円	75	-41.40%	1:1	事業再生資金	66.70%	三田
8508	Jトラスト	5月14日	7月30日	6281万株	1130億円	1,800	-57.10%	1:1	M & A 資金	86.00%	H S
8892	日本エスコン	5月9日	7月26日	3518万株	35億円	100	-74.29%	1:1	事業資金	98.20%	
3350	フォンツ・ホールディング	4月12日	6月28日	2773万株	6.9億円	25	-94.12%	1:1	投資資金	98.30%	S B I
6051	アイ・アールジャパン	4月12日	5月30日	16.8万株	10億円	6,000	-63%	1:0.1	設備投資	98.30%	野村
1757	クリアホールディングス	3月15日	5月30日	1638万株	7.3億円	45	-43%	1:1	設備投資	81.70%	三田
3423	エスイー	10月22日	1月30日	767.5万株	1.9億円	25	-94%	1:1	設備投資	94.80%	
3250	エー・ディー・ワークス	10月1日	12月14日	13.4万株	5.3億円	4,000	-47%	1:1	設備投資	92.80%	三田

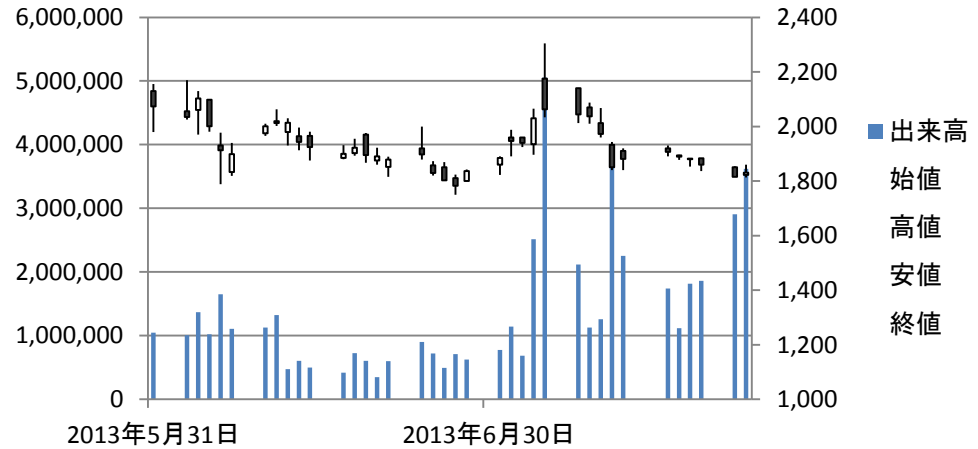
- ※発行株数は、株主に付与したライツ分(自社株には付与されない)
- ※決議日の新しい順から昨年のエー・ディー・ワークスまで
- ※発行価額は、ライツの行使価格
- ※ディスカウント率は、ライツ行使価格の前日株価比
- ※割当比率は、1株に対するライツ行使1株分の付与率
- ※資金使途は、発行会社記者発表文より当社判断
- ※調達率は、ライツの行使率
- ※アドバイザーは、発行会社公表資料より



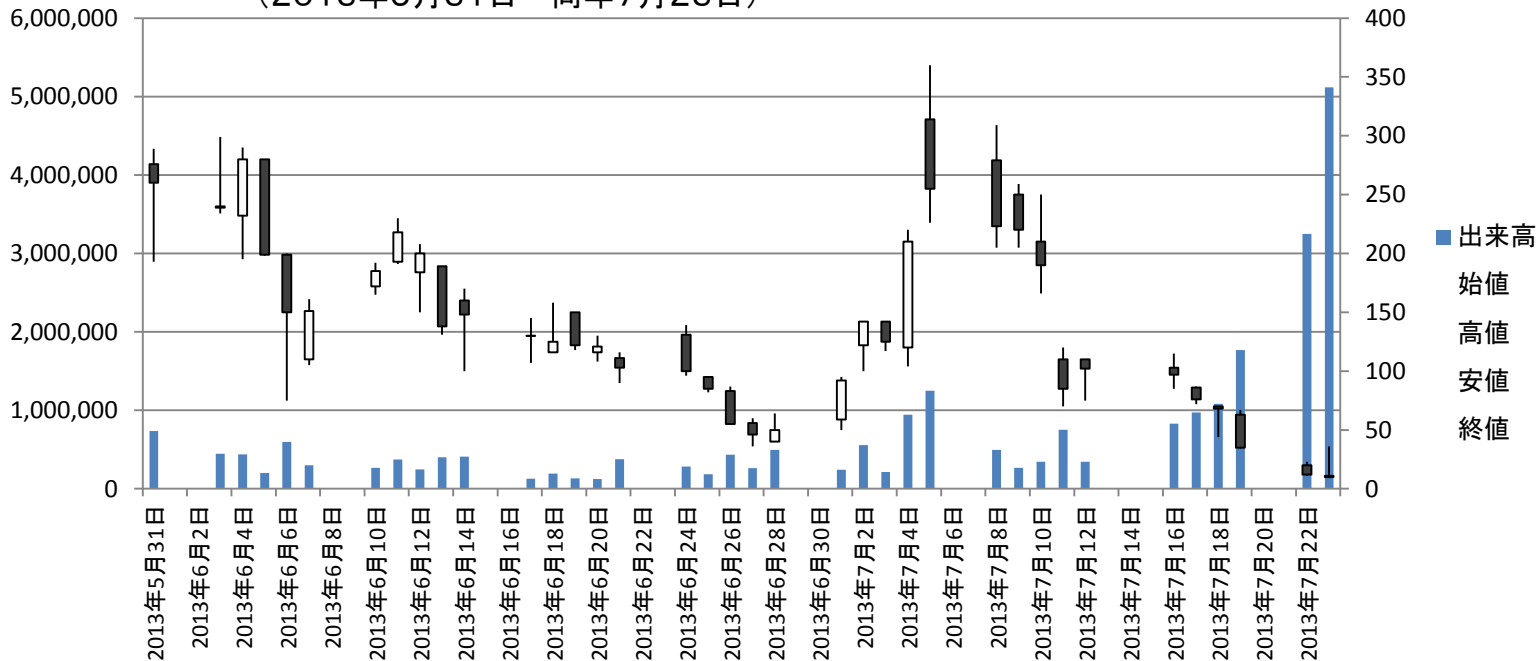
株価とライツの取引事例

(Jトラストの場合-1)

ライツ上場期間中の株価推移
(2013年5月31日～同年7月23日)



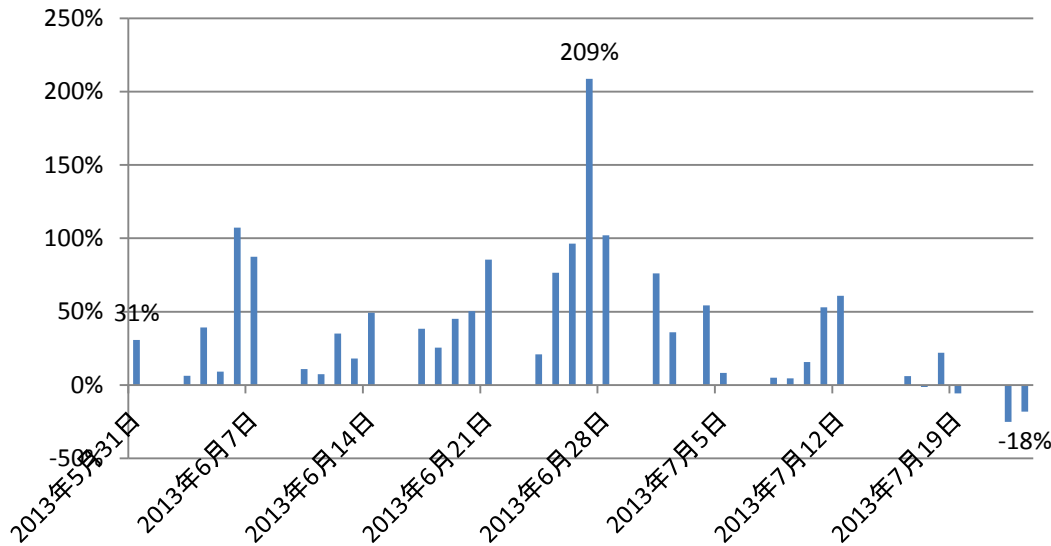
Jトラストのライツ売買推移
(2013年5月31日～同年7月23日)



株価とライツの取引事例

(Jトラストの場合-2)

Jトラストのライツ・プレミアム推移 (2013年5月31日～同年7月23日)



ライツの終値から、
株価の終値を引いたも
の＝ライツがどの位
のプレミアムで取引さ
れたかの指標

ライツの市場取引量
2,547万ライツ
(発行数の40%)

ライツ上場期間中の株式取引量
5,122万株
(発行株数の81.5%)

※この他に、市場外の取引有り
(大量保有報告書より)



ライツ・オフリングのポイント

資金使途

- ✓ 事例としては、通常の公募ファイナンスなどの設備投資からM&A資金・企業再生資金と幅広い
- ✓ つまり、通常の公募ファイナンスでは行い難い資金使途であっても、可能なファイナンス手段として使われているケースもある

企業のファイナンス選択肢を増やした

ライツの行使価格

- ✓ 事例としては、時価の6~70%と幅広い
- ✓ 行使価格の算定根拠を示す必要がある
- ✓ つまり、発行企業が考える自社の株価が顕かになる

企業が考える株価とは

ライツの付与率

- ✓ 事例としては、1:1が多い
- ✓ 公募ファイナンスに近いコミットメント型ライツ・オフリングでは、付与率が押えられる可能性がある
- ✓ 1株に2株分のライツが付与されたケースもあるが、企業にとっての大規模な資本調達理由が、株主・投資家に問われる

企業にとっての大規模ファイナンスの理由が必要

ライツ・オフリングの効果

ファイナンス手段の多様化

- ✓ 近年の増資問題などから、最近の公募増資などの公募ファイナンスは、発行済み株式総数の2割程度まで
- ✓ 第三者割当も発行済み株式総数の2.5割を超えるものは事実上規制されている
- ✓ 従って、前項の資金用途以外に大規模なファイナンス手段としてライツ・オフリングが選択されやすくなった

出来高の増加

- ✓ ライツ・オフリングは、企業規模が小さく出来高等も少ない銘柄の発行事例が多かった
- ✓ しかし、ライツ公表後は株式の売買高が急増するケースが多くみられる
- ✓ これは、ライツによって市場の注目を集め新しい投資家が参加したのと、大株主などの売買が行われた結果も影響している

投資家・株主の増加

- ✓ ライツ・オフリングは、企業が大規模に資本調達を行うものが多く、その結果、企業の大きな変化・成長に期待した新たな投資家層を生むことが可能
- ✓ 投資家の増加から、結果としての株主数増加にも繋がっている



ライツ・オフリングの留意点

ライツ・オフリングも、株主・一般の投資家を対象とした公募ファイナスである

株主が
選択しやすいように

投資家が
参加しやすいように

ファイナス目的の周知と
ディスクロージャーの徹底

大株主の対応と情報開示

ファイナスに際して、
株価をどの様に考えるか

発行企業のアドバイザーや、株主・投資家への助言者として、
証券会社の役割がある

